

製品名: CDK4 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21432**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:34kD;Observed MW:34kD

抗原情報

遺伝子名	CDK4
別名	CDK4;Cyclin-dependent kinase 4;Cell division protein kinase 4;PSK-J3
遺伝子 ID	1019.0
SwissProt ID	P11802
免疫原	ヒト Cdk4 の合成ペプチド

背景

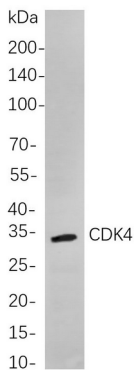
細胞局在:細胞質、核。サイクリン依存性キナーゼ 4(CDK4) Homo sapiens この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーのメンバーです。このタンパク質は、S. cerevisiae cdc28 および S. pombe cdc2 の遺伝子産物と非常

に類似しています。これは、細胞周期 G1 期の進行に重要なタンパク質キナーゼ複合体の触媒サブユニットです。このキナーゼの活性は G1-S 期に限定され、これは調節サブユニット D 型サイクリンおよび CDK 阻害剤 p16(INK4a)によって制御されます。このキナーゼは、網膜芽細胞腫遺伝子産物 (Rb) のリン酸化に関与していることが示されています。この遺伝子および D 型サイクリン、p16(INK4a)、Rb などの関連タンパク質の変異は、さまざまな癌の腫瘍形成に関連することがわかりました。この遺伝子には複数のポリアデニル化部位が報告されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



CDK4 ウサギ mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。